

平成 24 年 11 月 15 日

国東アートプロジェクトの感想

大分経済同友会 会報誌向け原稿

尾野文俊

<アートによる魔法の魅力に感動：国東の自然や文化の魅力再発見>

国東アートプロジェクトのアートツアーに参加して、新たな自然や六郷満山の文化の素晴らしさを再認識しました。アーティストから見た魅力の創造。アートは普段の風景に違った角度から光を当てることによって本来持つ魅力を更に輝かせることができる・・・ということを実感しました。何度も訪れた国東半島、知っていたつもりが知っているのは両子寺など代表的な場所ばかりで、もっとたくさん素晴らしい自然景観や神仏習合などの文化があることが分かりました。その理解もアートによる不思議な体験、まるでファンタジーの世界に迷い込んだような強烈な体験を通してのものでした。(詳細を書きたいのですが、ミステリー映画のネタバレらしをしてしまうような気がするので書きません)

アートツアーは基本的に5個所のポイントを巡るバスツアーで所要時間は12時間にもおよびます。設定された5個所のポイントはそれぞれアートによる体験劇場が準備されていて舞台転換としてバスを利用します。ポイント間のバス移動は効率的ではありません。わざと時間をかけて自然や風景を見せながらまるで劇の幕間に豊かな景観を楽しむような設定です。

残念ながらこのツアーは諸般の事情で50人/日しかも土日か休日でないとは運行されません。理由は参加したらきっと理解できます。参加した人は必ず国東半島の新たな魅力で、始めて訪れた人は驚きで、感動することでしょう。これからも継続して行ってもらいたいものです。まだまだアートで光り輝く「場」はたくさんありそうです。

<経済的効果・期待>

通常、芸術を利用したまちづくりを行う場合、芸術作品を何カ所かに設置して利用者が好みの作品を見るために巡るという手法が一般的だと思います。今回の国東はその場所でのみ魅力がでる仕組みと、一連作品としてのアートツアーで強烈な体験ができるというものです。よって参加人数が限定されます。まずは第一段階として国東の魅力を強力に発信するという意味で今回のアートツアーの方が話題性もとれ正しい方法だと思います。(なのでプロジェクトの評価は総参加人数で行われるべきではないと感じました)

この次の段階では、単体の場所でも楽しめるアート作品(その場所でしか楽しめないインスタレーション作品の方が差別化、付加価値を生みます。なにより地元の人たちの自信になります)をたくさん整備し来訪者を増やしていくことが大切だと思います。また一連作品としてのアートツアーも継続してもらいたいものです。また国東素材を使った

「食」の作品も魅力あることも分かりました。今年の越後妻有、大地の芸術祭では老人達とアーティストが一緒になって地元食材を使った「食のアート」が大盛況でした。別府では地元をキーワードにしたアート性のあるプロダクツとセレクト商品を扱う店舗、SELECT BEPPUに人気が出ています。例えば25,000円の竹のトートバックなどオーダーが多くて一時的に販売を控えている状況です。ここでしか販売していないアート性がある商品は付加価値も人気もあるようです。国東ももっと「食」を伸ばし、アート性のあるプロダクツ制作など製品の魅力も整備できれば国東半島はアート観光が必ずや成立するでしょう。これでアートによる経済効果を創出できると思います。まさしく経済産業省の提唱するクリエイティブ産業の振興です。また、別府の混浴温泉世界や県立美術館とも連携すれば観光のシナジー効果が期待できます。

<社会的効果の期待>

このアートプロジェクトで気になることがありました。

出迎えてくれた5人の女子中学生が自己紹介で「この地域にはなにもない」、5人中4人が「将来は大都会に住みたい」と言っていました。同じく出演した3人の男子小学生は野球をするのにバッテリーと打者だけで守備をする人のいない野球しかできないのだそうです。学校の統廃合が進んでいると子供達から聞きました。おそらく廃校となったところも多いと思います。地域にとって学校がなくなるということはある一種のコミュニティがなくなることだろうし辛いことだと思います。またいたるところで廃墟となった家屋を見かけました。過疎化、小規模集落の問題などを垣間見ることになりました。

子供達が自分の地域を誇れない現実には辛いですが、しかし今回プロジェクトに参加した子供達は全員笑顔でとても楽しんでいました。このプロジェクトを続け他地域からたくさんの方がやって来て、子供自身が演じるアートを見て感激してもらうようになれば子供達はもっと楽しくなると思います。きっとそのような地域を誇りに思うようになるでしょう。また進学などで大分を離れても大分に住みたいと思うようになるかもしれません。

これからは地域の高齢者達にもプロジェクトに参加して、アートの役を演じ、アートの運営ボランティアとして活躍してもらえれば「誇り」を持つてもらえるに違いありません。越後妻有大地の芸術祭や瀬戸内国際芸術祭でも高齢者の参加が大きな要素になっていて訪れた私たちにアート作品の説明を生き生きとしてくれました。子供達や老人が地域と自分に自信を持ち「誇り」に思うことで過疎対策や小規模集落対策も実現できるでしょう。このようにアートにより社会的課題を解決することが期待できると思います。

このような一連の活動を創造都市（クリエイティブ・シティ）と呼びます。

ともすれば苦しくなった工業都市がアートで再生し、観光を含む経済的効果が注目されますが、実はこのような社会的な意義や創造的な人材育成も創造都市の効果として期待

できます。大分県の政策「安心・活力・発展」のうち「発展」＝「創造」だと思います。大分県の政策として創造都市を取り上げて頂きたいと願っています。これから地方分権や地域間競争の時代になりますが、ミニ東京的なまちづくりではなく、その地域でのみ文化価値の光を放ち、誇りに思える・・文化的価値だけでなく経済的価値と社会的価値を上げることができる創造都市がますます重要になってきそうです。

注：産業振興や社会的課題解決を行う芸術文化のことを「アート」と呼ぶことが多いようです。

参考：その他の社会的効果（ニッセイ基礎研究所 吉本光宏氏の大分経済同友会での講演を参考）
社会的効果の先進地の事例として、福祉や医療で普段の療法では上がらなかった手がアート系のダンサーのワークショップを受けると気がついたら手が上がっていたり、車いすにずっと座っているお年寄りが立ち上がっていたという事例があります。アルツハイマー病に芸術的表現を行うダンスが治療に効果があると言われていています。埼玉県では障がい者担当の中に障がい者芸術・文化担当を新設し障がい者アートフェスティバルを始めました。ケアの福祉の対象である高齢者や障がい者が芸術活動によって普段とは違った面や表情が引き出されます。それが自分自身の肯定や新たな自分との出会いにつながっていきます。高齢や障がいによるマイナス面が、アートによって個性や豊かさに形を変えることで福祉をされる側、福祉をする側という立場を超えて互いに認め合う関係にもなるでしょう。福祉の根本が変化するかもしれません。

ハワイのホノルルでは治安の悪いチャイナタウンにアート施設やクラブなどがたくさん整備され、アーティストが住んで創作活動ができるレジデンスを整えたりした結果、治安回復され、今や夜でも一般市民が安心して歩ける街になっています。仙台の女子少年院では長年、創作オペレッタによる表現教育が大きな成果をあげているそうです。

イギリスではクリエイティブ・パートナーシップという事業でアーティストやクリエイターから授業を受けた子供達は、受けなかった子供より、国語や算数、理科の成績が高くなったという調査報告もあります。また、子供達は自信、コミュニケーション能力、学習意欲が向上したと校長の9割が回答しています。アメリカの前回の大統領選挙でオバマ大統領は文化政策のマニフェストに「芸術教育に再投資する」ということを最重要課題にしておりました。目的は「芸術家を育てることではなく、子供達の創造力やイメージーションを育成することが将来のアメリカの経済や産業を支えることになる」ということでアートの力に期待をしていました。

子供達だけでなく大人達も創造的なアートを通じて創造的な能力をつけることで将来の新しい産業を起業すること、とりわけ経済産業省のクリエイティブ産業の分野で活躍が期待できます。

国東アートプロジェクトへの期待

安心・活力・発展 そのうち 発展=創造 の実現

国東半島アートプロジェクト 2012 アートツアー

創造都市

アートで感動 アートが国東の魅力創造
国東の自然や文化、食の魅力再発見
アーティストが国東の潜在的魅力を見える化
国東の魅力を全国へ強力に発信

地域の魅力を拡大
独自性
多様な文化と歴史をつなぐ
東京型ではない魅力



プロジェクト継続
アートトリエンナーレ

アートフェスティバル
アート作品のインスタレーション
国東各所でアートの常設展示

文化的効果

経済効果

アートフェスティバルでの集客
平常時でもアート鑑賞で来訪
(他地域の観光アートの客層を誘引)
アート性あるプロダクト創造と販売
アート性ある飲食メニュー創造と販売
運営や関連施設での雇用
国東のメディア露出や話題性など宣伝効果
その他来訪者による経済波及効果
創造的人材による将来のクリエイティブ産業創出

社会的効果

住民が自信を持つ(「誇り」を持つ)
子供たちに夢と希望を(参加することで)
高齢者に楽しみと社会参加を(参加することで)
新しいコミュニティ創出
小規模集落対策
創造的人材の育成



他のアートや観光地との連携

シナジー効果

大分県立美術館
国東周辺地域とアートの連携(シーニックバイウェイなど)
別府混浴温泉世界など県内アートイベント
県内芸術文化施設
宇佐神宮や歴史資料館など県内文化施設
別府や湯布院などの観光地
九州内芸術文化施設
瀬戸内国際芸術祭など県外アートイベント

